



誠・力・光

令和6年10月 8日

練馬区立北町中学校

学校だより 10月号

人から人へ伝えることの大切さ

校長 中嶋 雅彦

出勤し部屋に入ろうと、職員室の前を見ると、4、5人の生徒が話をしていました。上級生が、後輩に何かを伝えています。10月は、委員会活動、部活動等のさまざまな活動が、学年を超えて引き継がれていきます。先程の光景のように、委員会活動の仕事内容をあらゆる機会を通じて、他の生徒に教えていく様子が見られます。先月末に、立会演説会が行われ、後期の生徒会役員が選出されました。今月の朝礼では、生徒会役員や専門委員の認証式が行われます。

「学級活動を通し、自分の役割を自覚し、他者との協働や公正さを保ちながら責任ある行動をとる態度を培う。」「自主自律の精神を基調にし、生徒会活動や学校行事などを通し、自ら進んで仕事を行う態度を育成する。」「生徒会活動を更に活性化させるために、生徒会本部役員の活躍の場を広げる。運動会・文化祭・合唱コンクールなどの学校行事、学級活動や生徒会主催の行事等で、生徒を全面に出した主体的な活動を支援し、協力する態度や連帯感・成就感を育む。これらの活動を通して、人間としてのあり方を考えさせ、自己を生かす能力を育てる。」など。このように本校の学校経営方針には、生徒会活動に関係する取り組みが数多くあります。学校行事の場では、もちろん、校内を回り授業での生徒の活動からも、この項目の大切さを肌で感じます。先輩や仲間からの伝達を静かに聴き、それを自分のものとして行動に移す。人の意見を聞くことの大切さ、そして、それを考えながら受け入れ、自分のものとして変化させ行動する。本校の生徒は、話すことより聞くことの重要性を知り、それを自分なりに失敗を繰り返しながら、表現していきます。この過程において、本校の教職員は、子どもたちを支援しながら、時には、学び合いながら、お互いを高めています。

また、小中一貫教育として、北町小学校、北町西小学校とは、さまざまな交流活動を行っています。今月の部活動体験では、中学校から始まる部活動を体験し、進路への不安を少しでも軽減してもらえればと願い、実施しています。中学校からの発信が、中学校にとどまらず、小学生へ届き義務教育9年間の充実につながればと考えています。

10月26日の文化祭では、北中の生徒が、たくさんの発表をします。保護者や地域の皆様におかれましては、お忙しいところとは存じますが、参観していただき、その成果を感じていただければと思います。